第89回

実は隣のスゴイ人

曽於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。前回のスゴイ人、有村まり子さんにご紹介いただいたこの方は「歌とギターで人を喜ばせる、人生ベテランなスゴイ人」とのこと。

【今回のスゴイ人】ギター奏者

井筒輝男さん

今回は、末吉町にお住まいでギター奏者の井筒輝男さんに話を伺ってきました。

福岡県出身でギターを弾き始めたのは15歳。高校卒業後は鉄道会社に就職しましたが、九州ギター音楽コンクールで第1位となり、ヤマハ音楽振興会で九州初のギター講師になりました。九州各地で指導をするなか、鹿児島市に来てしばらくするとギター教室が解散することに。

「天文館にある喫茶店のマスターに声をかけられ、店内で弾き語りを始めました」

歌うのは40代にして初めてのことでした。それでも評判が広がりクラブやスナックからオファーを受けて歌うように。

「演歌・ロック・フォークなどリクエストに対応するために勉強し、レパートリーは数万曲になりました」

そんな活動をしていた頃、当時の鹿児島国際大学短期大学部から声がかかり非常勤講師に採用され大学での活動も加わりました。

またあるクラブで弾き語りをしていたとき、認知症専門病院の院長から音楽顧問として病院で2日に1度の演奏を依頼されました。

病院ではじめて演奏した日。

「患者さんから拍手はなく、聞いてもらえているのか分かりませんでした」

演奏をはじめて3日目。

「軍歌を弾いたところ足でリズムをとっているのが見えました。ちゃんと聞いてくれている人がいると分かっただけで満足でした」

音楽療法士となった井筒さんは普段の演奏に加え『土曜日ロビーコンサート』を20年間で400回以上行いました。

その後奥さんの実家がある曽於市へ移住。依頼があると演奏を行っています。

「これからは身近な人たちと音楽を一緒に楽しんで、好きなことや、皆が喜ぶことをやりたい」

と笑顔で話してくれました。

井筒輝男さん
ロビーコンサート

懐かしの曲
元気が湧いてくる曲
リクエストにもお応えします
鑑賞無料です
温泉のあとにぜひ立ち寄ってみてください

日程　毎月第２・４火曜日
時間　午前10時～午後４時
場所　メセナ住吉交流センター